

第3回 北上川上流洪水減災対策協議会

減災対策に係る委員の主な発言（概要）

- ・ 今まで想定されなかった降雨が今頻繁に起こっている事を踏まえ、完成堤防でも点検などをしっかり実施して頂きたい。
- ・ 氾濫経験がある河川においては、水位周知河川の指定、あるいは水位計の設置等の検討をお願いしたい。
- ・ これまでの経験から上流の情報もしっかりと下流へ伝達できる体制の構築をお願いしたい。
- ・ 特別養護老人ホームにおける避難訓練の結果、避難終了迄に時間を要する事がわかったので、避難準備情報、高齢者等避難開始等の発令判断を出すタイミング等しっかり検討していきたい。
- ・ 共助の心を強化するため地域内の危険箇所や避難に手助けが必要な高齢者等を把握したマップを作成し、災害時に誰が手助けをするのかを決めている。
- ・ 要配慮者・要配慮者利用施設に対する取組については多くの方に周知する必要があるため、是非とも大きく強く情報発信して頂きたい。
- ・ 昨年の台風10号を踏まえ高齢者等避難開始等の発令判断の出し方については、内部でもう一度確認する必要がある。
- ・ 浸水想定区域は、地域の水害リスクを知る上で必要な情報となり、また、専門的な見地からの説明は避難意識向上に効果がある事から、引き続き河川管理者と協力しながら説明を実施していきたい。